

報 告

## 近畿病院図書室協議会第121回研修会（事例・研究報告会）

研修部

日時：2010年3月30日（火） 10:00～12:00

場所：神戸国際会館 8階 5号会議室

プログラム：

### 1. NACSIS-ILL 参加報告

—よりよい相互貸借をめざして

洛和会音羽病院 藤原 純子 氏

### 2. 看護研究入門者への支援

—5年間の振り返りと学び

刈谷豊田総合病院 武田 昭子 氏

### 3. ピクトグラムについて —病院図書館・患者図書館で役立つピクトグラムを提案する

関西労災病院 寺澤 裕子 氏

### 4. 近畿病院図書室協議会アンケート報告

—ネットワークの在り方 期待と課題

社会保険神戸中央病院 林 伴子 氏

参加者数：30名（研修部2名を含む）

### 1. NACSIS-ILL 参加報告

—よりよい相互貸借をめざして

NACSIS-ILLの概要説明から参加へのきっかけおよび2008年3月に導入してから2年間の状況を報告された。導入前後の業務量変化、導入によるメリット・デメリットなど担当者1名の図書館においてどのような対応が必要であるか、詳細を説明された。まとめとして、文献複写依頼・受付件数は大幅に増加したが依頼業務は容易になり負担が軽減したこと、またそのことが利用者の時間的・経済的負担を軽減しサービス向上につながったことをあげられた。受付に関しては、これまで依頼する一方であった館種の違う図書館からの複写受付ができるようになり

‘相互貸借’に近づけたのではないかと、参加後の2年間で振り返られた。

### 2. 看護研究入門者への支援

—5年間の振り返りと学び

2005年から5年間取り組まれた看護研究入門者への文献検索講義について、それぞれの年ごとに内容・形態・反省点などを解説された。講義前後に行ったアンケート結果を反映し、行動目標を定められるなどして基本方針を固められ、回数を重ねるごとに講義形態や参加者数に左右されず、受講者の要求に合う講義が行えるようになったことを説明された。5年間の講義を経験され、スキルアップのため司書自身の学習の必要性やインタビュー技術の向上など自己の課題と、「講義参加者と共に自分も成長していきたい」とこれからの希望を述べられた。

### 3. ピクトグラムについて—病院図書館・患者図書館で役立つピクトグラムを提案する

ピクトグラムの概容・歴史、演者自身が訪問地で撮影した写真を多く挙げながら身の回りに多くあるピクトグラムを解説され、直感的にわかる視覚言語＝ピクトグラムを‘迷わず使える図書館づくり’に生かすための調査結果を報告された。また発表最後の質疑応答において参加者より、スウェーデン発祥の知的障害者や言葉のわからない外国人でも理解できる、誰にでもわかりやすく情報を伝える「LLブック」が紹介された。病院の図書館や小児科などで「LLブック」の収集を検討してほしいと要望を述べられた。

#### 4. 近畿病院図書室協議会アンケート報告 —ネットワークの在り方 期待と課題

実施の目的や回収率など、アンケートの概要と回答結果について報告され、会員機関が当協議会に入会した当時の担当者が、回答者の約2割程度に留まるという世代交代が進む中、会員としての基礎的知識を問う設問についての回答結果を考察された。それぞれの会員は当協議会の活動に何らかの形で寄与することが原則

であるところ、各部活動への協力についての設問では、兼任業務や地理的な理由などで活動に参加できないという回答が半数以上を占めていた。対策として地域ミーティングの開催などをきっかけに、会員間交流の場を設けることを検討したいと述べられた。詳細については会誌などにおいて報告される。

(文責：田中律子／大阪滋慶学園)

